

## 親鸞聖人像

神奈川県足柄下郡箱根町 萬福寺所蔵

親鸞聖人が箱根権現を発ってから後年、箱根権現の境内に親鸞聖人堂が建てられた。ここに、聖人が箱根権現を後にする際、残されていかれた親鸞聖人像と十字名号が安置されることになった。この親鸞堂の日々のお給仕や堂守を萬福寺先代住職が勤めていた。

天明の頃（1780年代）この堂宇、いわゆる親鸞堂が老朽化したため、萬福寺の住職及び門信徒が東福寺住職の承認を得て、京都の本願寺に修復方を上申し、これが認められ再建されることになった。

天保11年10月に親鸞堂が新築落成し、引き続き萬福寺先代住職が親鸞堂のお給仕を継続すると共に護持に勤めてきた。

しかし、明治の廃仏毀釈の際、金剛王院東福寺は廃寺となり、親鸞堂は打ち壊されて消滅した。

なお、安置されていた親鸞聖人像と十字名号は、危うく難を逃れ、萬福寺が譲り受けた。



親鸞聖人像